

平成30年度 名桜大学看護実践教育研究センター企画

やんばるを訪れる外国人の保健医療サポート検討会

キック・オフ講演会

<テーマ>

“外国人観光客や在日外国人に対する保健医療サービスを考える”

日時:平成30年7月14日(土)13時30分~15時30分

会場:看護学科棟 講義室4(予定) **参加費:無料**

対象:看護職、医療従事者、病院勤務者、外国人医療サポートに関心がある方

内容:①講演会、②情報交換会

講師:高嶋 愛里(たかしま あいり) 氏

特定非営利活動法人 多文化共生センターきょうと 医療通訳コーディネーター・看護師・保健師。高校、大学生時に英語、スペイン語圏へ留学。神戸大学にて保健学(国際保健学)博士号取得。学生時代より在住外国人の医療に関心を持ち多言語医療電話相談・無料相談会の活動を経て、現在は医療通訳の養成や派遣などの事業に関わり、外国人患者の医療保健に関する講義も行っている。



© Can Stock Photo - csp12579007

やんばる地域を訪れる外国人観光客や長期在留者は増加していますが、日本語が不自由で、医療機関の受診方法がわからず、思うように保健医療サービスを受けられない人も少なくありません。また医療者側も、外国人患者への対応に苦慮しているという現状があります。

昨年2月に初めて本検討会を行いました。この度、改めてキックオフ講演会を開催することになりました。外国人保健医療サービスに興味・関心がある方は、ぜひご参加下さい。

* 問い合わせ先:名桜大学看護実践教育研究センター TEL:0980-51-1118